

あいせい

第 370 号
 発行日 令和 4 年 3 月 1 日
 発行人 愛正会企画会議
 編集人 愛正会企画会議
 発行所 ㈱茨城福祉サービス
 Tel 0293 (22) 5848
 Fax 0293 (23) 7276

医療法人・社会福祉法人 愛正会広報紙

愛正園感染者ゼロ継続中！



PCR検査で全員陰性

PCR検査で全員陰性
 はほぼ為されていましたが、今回のイエローゾーンを想定したシミュレーション実施で新たな課題が浮き彫りになりました。新型コロナウイルス対策に終わりはあり



シミュレーションでも食事は重要

生活支援課長 高橋 慎
 未だ終わりの見えない戦いに、これからも三位一体で取り組みを進めて行きたいと考えています。

7回目のシミュレーション実施

二月十七日、新型コロナウイルス感染症が施設内で万一発生した場合のシミュレーションを実施しました。令和三年二月に一回目を実施して以降、今回で七回目の模擬訓練となります。

手探り状態で始まったシミュレーションも、実践を重ねるごとに感染症対策に必要な備品やゾーニングの仕方、感染者に対する対応方法等の知識や理解を深め、現在ではレッドゾーン（感染者対応ゾーン）における対策についてはほぼ整備されました。

そんな中、実際に施設内でクラスターが発生した施設の体験を耳にする機会があり、本来安全と思われたグリーンゾーン

（無感染者対応ゾーン）に濃厚接触者が潜んでいて、そこから感染者が広がったという事実を知りました。



3回目のワクチン接種

そこで、今回、七回目のシミュレーションは、無症状で勤務していた職員が退勤後に発熱し、受診・検査の結果、新型コロナウイルス陽性が判明したとの想定で行いました。誰が濃厚接触者であるかの判断が困難な設定で、全ての利用者様を対象としたイエローゾーン（濃厚接触者対応ゾーン）のシミュレーションです。

愛正園では職員家族の職場同僚が感染者となり、濃厚接触者になるケースはありましたが、三月末現在、未だ職員・利用者様から感染者はまったく出ていません。これは、シミュレーションやPCR検査、ワクチン接種（二月上旬で全利用者様・職員が三回目実施済）と、新型コロナウイルスへの取り組みが継続して行われ、適度な緊張感を生み、職員の意識が高いところで維持できているからだと思います。職員の努力の結果でもあります。また、利用者様も外出や面会の制限にご協力頂き、我慢の生活を続けて下さっています。ご家族には施設長から約二年間計三十六回の通知で、愛正園の取組や対策にご理解を頂いています。これらの協働こそが感染者ゼロに繋がっているのだと強く思います。